

KEEP COOL TIMES



概要

今回の模擬国連では、「温暖化を考えるボードゲーム」Keep coolで、経済発展しつつ、地球環境(炭素メーター)の安定を図るために条約を制定することを目的としている。各国の大使がスピーチを行い、コーカス・非公式討議を挟んで投票によって最終決定が下される。投票は各国大使が1票ずつ持っており、過半数の可決となる。

ヨーロッパ環境保護を第一に

EUROPEでは環境を第一に考え、先進国が率先して環境問題解決に取り組む事が必要だと考えている。USAやJapanなどの先進国にCO2排出削減を求め、中国・インドなども削減義務国に入れる事を検討中である。また全体として、黒工場に課税をかけ、毎ターンごとに徴収し、技術革新のために貯蓄するという事を主張している。しかし、その課税についての詳細は決まっておらず、次回の会議も目がはなせなくなりそうだ。

さらなる発展へ!!?

USA&PARTNERSは技術革新を推し進め、持続可能な発展を主張している。あくまでも経済発展をメインにし、技術革新により緑工場の普及を広めることで気候変動に対応していく模様である。また、発展途上国の工場を建てるための援助も考えているようである。しかし、資金の調達方法や、資金の管理方法・国際機関発足の有無など具体策は決まっていない。また前回の会議で他国と交渉する様子はみられなかった。USA&PARTNERSは、発展をメインに考え、先進国で固まっているが、果たして他国との交渉なしにこのドラフトが可決されるのだろうか?

他地域と活発に交渉

TIGER COUNTRY(以下、TC)、FORMER SOVIET UNION(i以下、FSU)、DEVELOPING COUNTRY(以下、DC)、この三地域はお互い積極的に交渉を進めているようだ。TCは、黒工場をつぶして緑工場を増やす方針を考えていると同時に先進国からの援助を求めている。FSUは、FSU、TC、DCの三地域が毎ターン、先進国から1チップもらうということを主張している。この案をどのように通していくかが大きな課題となると考えられる。これら三地域の協力は今後どのような動きを見せていくのだろうか。

今後の動きは・・・

前回の会議では、まず各地域の中での交渉から始められ、その後、先進国以外の地域同士での交渉が見受けられた。周りの地域が早くも団結しようとしていく中で、先進国はどのような方針で模擬国連に臨むのだろうか。OPECはまだ自国の立場を明らかにしていないため、他地域がどのようにOPECと協力していくかが、大きなカギになるであろう。

会議予定

- 会議予定は以下の通りである
- 12/18(2nd meeting) 12:00 DR(決議案)提出×切(メールの場合は12/21)
 - 12/25(3rd meeting) 12:00 AMEND(修正案)提出×切(メールの場合は1/5)
 - 1/ 8(4th meeting) 11:50 投票
- ×切は予定(変更の可能性あり)
- 予想される会議の展開は以下の通りである
- 1st meeting DR作成のための交渉
 - 2nd meeting DR作成のための交渉
 - 3rd meeting 配布されたDRの説明をして、どのような修正をすれば投票してくれるか交渉して、アmendを作成する
 - 4th meeting 配布されたアmendの説明をして、アmend提案者になっていないデリに対して投票への説得をする